作成者:正木　香奈

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC材料		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	正木　香奈

授　業　の　概　要

建築・インテリアに関係する材料の特性を知り、各材料が及ぼす環境への影響について理解する　　前期で学んだ建築材料について、過去のインテリアコーディネーター試験問題を解きながら、より知識を深める

インテリアコーディネーター2次試験対策として、小論文の書き方を学ぶ

授業終了時の到達目標

専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科・製図)に合格

実務経験有無	実務経験内容
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、21年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する
実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	木材の性質	木材の長所と短所 名称と木取りに関する用語 強度
2	木質系材料	合板等の製法と性質
3	鋼材・金属系建築材料・コンクリート・ボード製品	それぞれの特徴や用途、種類
4	機能材料・仕上材①	機能材料の定義と種類 仕上材（陶磁器）
5	仕上材②	仕上材（ガラス・プラスチック・石材）
6	左官材料 カーペット	材料の特徴 カーペットの製法と特徴
7	壁紙・塗料	特徴と生活上での影響
8	温熱環境①	屋外環境と室内環境 伝熱・断熱・冷暖房
9	温熱環境②	湿度と結露 体感温度 換気と通風
10	音環境	性質と尺度 音環境の測定と調整
11	光環境	性質と尺度 採光と日照
12	前期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り
13	ショールーム見学	メーカーのショールームで実際の材料や機器に触れ、今後のプランに反映できるようにする
14	ショールーム見学	メーカーのショールームで実際の材料や機器に触れ、今後のプランに反映できるようにする
15	ショールーム見学	メーカーのショールームで実際の材料や機器に触れ、今後のプランに反映できるようにする
16	ショールーム見学	メーカーのショールームで実際の材料や機器に触れ、今後のプランに反映できるようにする
17	プレゼン図面作成	短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める
18	プレゼン図面作成	短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める
19	プレゼン図面作成	短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める
20	プレゼン図面作成	短時間でプレゼンできるだけの図面作成力を高める
21	小論文について	起承転結を踏まえて、自分の考えをまとめて形にする
22	小論文について	起承転結を踏まえて、自分の考えをまとめて形にする
23	小論文について	起承転結を踏まえて、自分の考えをまとめて形にする
24	後期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本	出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
３ＤＣＧ演習		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	48回	0単位（96時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

VectorWorksを使用して設計図を3次元化しプレゼンテーションの幅を広げる為の技術を養う
Illustrator/Photshopを応用しプレゼンテーションボード作成方法を理解する

授業終了時の到達目標

３次元CADのスキルを身につけることにより、設計における空間把握能力を高め、作品の質の向上を目指す
パソコンを使ってプレゼンテーションボードを制作することで、更に表現力を身に付け質の高いプレゼンテーションができる

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

パソコンを使用する癖をつける
繰り返し作業をする事により知識・技術の幅を広げる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	３DCGとは	授業内容の説明、ソフトの説明 ソフトのインストールについて
2	Illustrator,Photoshopの復習	テーマに沿ったポストカード作成
3	Vector Works基礎Ⅰ	画面と各部名称 各種設定(環境設定、ファイル設定、用紙設定)
4	Vector Works基礎Ⅱ	基本操作、レイヤの設定と縮尺
5～6	Vector Works基礎Ⅲ	２D作図の基本
7～8	３次元基礎Ⅰ	３Dモデリングの基本 （柱状体、多段柱状体、回転体、２Dパス図形）
9～10	３次元基礎Ⅱ	柱、壁、床、窓の作成
11～12	３次元基礎Ⅲ	躯体のモデリング
13～14	３次元基礎Ⅳ	レンダリングとテクスチャ
15～18	３次元応用Ⅰ	前期演習課題の3D制作
19～20	プレゼンボードについて①	Illustrator,Photoshopの復習
21～22	プレゼンボードについて②	プレゼンボードの制作方法
23～24	実技試験	まとめ
25～30	課題製作	プレゼンボード制作
30～33	ポスターコンペにチャレンジ	Illustrator,Photoshopの応用 ２次元の表現
34～37	３次元応用Ⅱ	家具の作図(※選択課題)
38～43	３次元応用Ⅲ	戸建住宅の作図(※選択課題)
44～60	PC技術の総まとめ	※選択課題

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
VECTORWORKSパーフェクトバイブル 2023/2022対応	出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	30.0% 20.0% 10.0% 40.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC概論Ⅰ		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	川崎　耕平・正木　香奈

授　業　の　概　要

建築設備の知識を身に付け、インテリアコーディネーター試験一次試験合格、また卒業後二級建築士試験合格につなげる

授業終了時の到達目標

専門用語を理解し専門的知識を身に付け、インテリアコーディネーター試験合格を目指す

実務経験有無	実務経験内容
有	RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	建築設備概論 給排水衛生設備	給水設備
2	給排水衛生設備	給湯設備 ガス設備
3	給排水衛生設備	排水設備 衛生器具設備
4	空気調和設備	空気調和設備空気調和と室内環境 空気の状態を知る
5	空気調和設備	空調負荷の考え方 空気調和方式の種類・特徴
6	空気調和設備	熱源・熱搬送設備と機器部材
7	空気調和設備	換気・排煙設備
8	電気設備	受変電・幹線設備
9	電気設備	動力設備 自家発電・蓄電池設備
10	電気設備	照明・コンセント設備
11	電気設備	情報・通信設備 防災設備
12	期末テスト	解答解説
13～15	前期末課題	
16～19	構法、設備分野復習	コーディネーター直前補講 （構法、構造、設備分野）
20～23	過去問題等	
24	期末テスト	解答解説

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本	出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

作成者:寒川　恵太

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
コンペ演習		トータルインテリア学科／2年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位（30時間）	必須	寒川　恵太

授　業　の　概　要

様々なコンペに応募することにより、クライアントを設定した制作及び期限をふまえた実践的な制作態度を身につける

授業終了時の到達目標

コンセプトワークを自分のものにし、更にプレゼンボードのスキルをあげる
各自１回以上の受賞を目指す
外部に評価をしてもらう事で自信となり就職活動に役立てる

実務経験有無	実務経験内容
有	大型商業施設の商環境デザイン、住宅・店舗の設計の経験を活かした教育を行う。

時間外に必要な学修

実在する空間を数多く見て、使って研究する
なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける

回	テ　ー　マ	内　　容
1	オリエンテーション	様々なコンペにおいての入賞作品をみてみよう
2～15	コンペ作品制作 適宜コンペ作品制作 ※詳細後日発表	課題説明 コンセプトワーク 必要図面等作成 プレゼンボード制作

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌全般	出席率 授業態度 課題・レポート	50.0% 10.0% 40.0%	

作成者:松尾　誠司

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ		トータルインテリア学科／2年	2024／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位（30時間）	必須	松尾　誠司

授　業　の　概　要

就職活動において必要な心得やスキルが取得できる。動画で要点を学び、宿題を通じで問題や課題を発見し、授業で解決していく。なお、動画は自宅などで事前に視聴することを前提とする。授業はグループワークを主とし、発表を通じて、理解を深めていくスタイルをとりたい。

授業終了時の到達目標

就職活動に必要な考え方やスキルはもちろん、社会で活躍するライフスキルも身につく。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

次回の授業内容を踏まえて動画を用いて予習する

回	テ　ー　マ	内　　容
1	「就職活動の世界」を知る その１	以下、グループと全体で確認と共有。 ・就活の心構え ・就活の目的と目標 コンピテンシーチェックを行う
2	「就職活動の世界」を知る その２	以下、グループと全体で確認と共有。 コンピテンシーチェックを振り返る（何を伸ばし、何を補うか。自覚を促す）
3	プレゼンテーション①	テーマを決め、3分程度でプレゼンテーションを行う。
4	プレゼンテーション②	自分のPRポイントをまとめ、セルフプレゼンテーションを行う。
5	プレゼンテーション③	気になった時事問題を調べ、プレゼンテーションを行う。
6	ディベート練習①	二つのグループに分かれ、テーマに基づいてディベートを行う。
7	ディベート練習②	二つのグループに分かれ、テーマに基づいてディベートを行う。
8	グループディスカッション①	テーマについてグループで話し合い、意見をまとめてプレゼンテーションを行う。
9	グループディスカッション②	テーマについてグループで話し合い、意見をまとめてプレゼンテーションを行う。
10	給与明細の見方①	給与明細の様々な項目について確認する。
11	給与明細の見方②	給与明細の様々な項目について確認する。
12	働くことについて考える	社会人として働くことの意味、学生時代との違いをグループで話し合い、意見交換する。
13～15	課題	テーマに基づき課題に取り組む。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	課題・レポート	50.0%	

作成者:正木　香奈

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC構造		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	正木　香奈

授　業　の　概　要

建築の基本的な構造や構法を理解し、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する

授業終了時の到達目標

専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格

実務経験有無	実務経験内容
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、21年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	建築工法について	主要な4種の工法を理解する
2	建築工法(プレハブ)について	プレハブ住宅の概要を理解する
3	木造について	木造住宅と木造軸組工法の特徴を理解する
4	木造について	基礎の構造を理解する
5	木造について	真壁と大壁の違い・土台の機能を理解する
6	木造について	柱の種類・その機能を理解する
7	木造について	胴差・桁・梁の違いを理解する
8	木造について	筋かい・火打ち・貫の機能を理解する
9	木造について	和小屋と洋小屋の構造と部材の違いを理解する
10	木造について	屋根の形を理解する
11	木造について	床組の種類を理解する
12	前期試験	試験の実施と授業の振り返り
13	木造について	床組の工法を理解する
14	木造について	継手の意味と主な種類を理解する
15	木造について	仕口の意味と主な種類を理解する
16	緊結金物の種類について	緊結金物の必要性について理解する
17	緊結金物の種類について	主な緊結金物を理解する
18	枠組壁工法について	枠組壁工法と軸組工法の違いを理解する
19	枠組壁工法について	枠組壁工法の施工法を理解する
20	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の特徴を理解する
21	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の構造の種類を理解する
22	鉄筋コンクリート造について	鉄筋コンクリート造の工事や各部位を理解する
23	鉄骨造やその他の工法について	鉄骨造やその他の工法の特徴を理解する
24	後期試験	鉄骨造やその他の工法の特徴を理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本	出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

作成者:松尾　誠司

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
LS概論		トータルインテリア学科／2年	2024／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	0単位（60時間）	選択	松尾　誠司

授　業　の　概　要

リングスタイリスト2級の検定対策を行う。

授業終了時の到達目標

・リビングスタイリスト2級に合格する。
・インテリア販売店のリビングスタイリストに必要な知識が身につく。

実務経験有無	実務経験内容
なし	

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	リビングスタイリストの仕事	リビングスタイリストの職業理解
2	流通	流通のしくみ 小売業の役割
3	流通	小売業の分類
4	流通	チェーン組織 データに見る小売業
5	情報	情報の種類
6	情報	情報の収集
7	情報	情報の活用
8	マーケティング	マーケティングの基礎知識/市場調査
9	店舗演出	店舗演出の基本
10	接客販売	接客販売の仕事とは リビングスタイリストの基本業務
11	接客販売	接客販売に関する事務 購買心理とは 他
12	ビジネスマナー	社会人の基本
13	ビジネスマナー	職場の人間関係
14	ビジネスマナー	報告・連絡・相談　他
15	法規	住生活産業に関わる法規
16	家具・窓装飾	家具の分類
17	家具・窓装飾	いす テーブル 机 収納家具
18	家具・窓装飾	ベッド カーテン シェードスクリーン　他
19	照明・設備	照明の基礎 光源 照明器具
20	照明・設備	キッチン バス トイレ
21	照明・設備	その他の設備 リフォーム
22	住生活アクセサリー	グリーン
23	住生活アクセサリー	テーブル
24	住生活アクセサリー	アート その他の雑貨
25	過去問練習①	2021冬季
26	過去問練習②	2022夏季
27	過去問練習①	2022冬季
28	過去問練習③	2023夏季
29	過去問練習④	2023冬季
30	期末試験	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
1級・2級リビングスタイリスト資格試験 【公式テキスト】	課題・レポート 期末試験	40.0% 60.0%	

作成者:正木　香奈

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC法規		トータルインテリア学科／2年	2024／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	選択	正木　香奈

授　業　の　概　要

建築の基本的な構造や構法を理解した上で、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する

授業終了時の到達目標

専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格

実務経験有無	実務経験内容
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、21年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	建築基準法について	建築基準法の基本的な用語や採光に関する規定について理解する
2	建築基準法について	換気に関する規定やシックハウス対策について理解する
3	建築基準法について	居室の床高・天井高に関する規定や共同住宅の界壁・地階の居室に関する規定について理解する
4	建築基準法について	階段の規定や内装制限について理解する
5	建築基準法について	建築物と道路の関係・形態・構造に関する制限や建築物を建てるための手続きについて理解する
6	品確法・消防法・都市計画法・電気ガス関連法規について	品確法の内容・消防法の規定・都市計画法の用語・電気用品安全法の内容について理解する
7	消費生活関連法規について	消費生活保護に関する動きと法律の成立や消費生活用製品安全法について理解する
8	消費生活関連法規について	PL法の内容や工業標準化法・JAS法について理解する
9	消費生活関連法規について	家庭用品品質表示法や割賦販売・クーリングオフについて理解する
10	消費生活関連法規について	消費者契約法や特定商取引法について理解する
11	品質表示マークについて	建築基準法の基本的な用語や採光に関する規定について理解する
12	期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本	出席率	40.0%	
	授業態度	10.0%	
	課題・レポート	10.0%	
	期末試験	40.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC販売		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位（30時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

インテリアコーディネーターの仕事を参考に流通や販売について再認識し、商品やサービスの販売に関する基礎知識を学習する

授業終了時の到達目標

働く上での一般常識を理解し、余裕のある社会人生活をスタートするための知識・技術習得

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する
繰り返し作業をする事により知識・技術の幅を広げる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	住宅の供給と政策	日本の住宅とインテリアについて理解し、これからの住宅について確認をする
2	環境問題と住宅	住宅に関わる環境問題について理解する
3	職能と仕事	建築・インテリア業界の実務について理解する
4～5	見積書について	見積書の見方を理解し、実際に練習問題を通して確認する
6	マーケティングの諸活動	専門用語を理解し、市場の仕組みについて確認する
7～10	実践課題「部屋のコーディネート」	予算を踏まえ、実践に近い提案の仕方について理解し、クライアントを想定した見積書、プランニングボードを作成する
11	プレゼンテーション	説得力あるプレゼンテーションについて理解する
12	期末試験	まとめ
13～15	課題製作	リアリティのある作品に仕上げる

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本　上巻 世界で一番やさしいインテリア	出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	30.0% 10.0% 20.0% 40.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合デザインⅢ		トータルインテリア学科／2年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜篭　谷澤

授　業　の　概　要

トータルインテリア学科1，2年生を混成の班に分け、コンセプトワーク、プラン、プレゼンという過程を経て制作物を作成する能力を養う

授業終了時の到達目標

1，2年で協力しクオリティの高い制作物を作る
2年生はコンセプトワークや作業の手順等を伝えるとともに1年生の「良さ」を引き出し成果物に反映させる

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける
実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	班分け 課題発表①	班分けを発表し、アイスブレイク 課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン
2～4	プレゼン 制作	各班のプランをプレゼン 制作（全員）
5～11	課題発表②	課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン 企画プレゼン（教員了承後）
12	完成プレゼン	完成プレゼンテーションを行う

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般	出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
スペースデザイン演習Ⅱ		トータルインテリア学科／2年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	0単位（60時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

２年間の集大成として、あらゆる科目で習得してきた知識と技術を活かして、実在空間についてプランから制作及び設営まで行う技術を養う
クラス全員のグループ制作と捉え、各自の役割を理解し、責任を持って計画的に作業を遂行することで、完成度の高い空間づくりについて理解する

授業終了時の到達目標

自分で考え、グループを動かし、クライアントに求められている実際の空間を作り上げることができるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

実在する空間を数多く見て、使って研究する
なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける

回	テ　ー　マ	内　　容
1～2	スペースデザイン	グループ製作 コンセプトワークついて確認する 発想力体操 カフェ制作　オリエンテーション
3～11	スペースデザイン 課題A「モデルルームコーディネート」	オリエンテーション コンセプトメイキング 内装コーディネート コーディネートボード作成
12	プレゼンテーション	
13～23	スペースデザインB「〇〇の提案」	グループ製作 コンセプトをカタチに落とし込む能力を養う 創造力を身につける
24	プレゼンテーション	
25～30	実製作	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌	出席率 課題・レポート 授業態度	40.0% 40.0% 20.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合デザインⅣ		トータルインテリア学科／2年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜篭　谷澤

授　業　の　概　要

学年の枠を超えたグループでの取り組みを行うことにより、コミュニケーション能力と人間力を養う
与えられた空間・予算内で常に新しい表現で感動を与えるモノを作る

授業終了時の到達目標

グループ制作を通して企画・制作・発表を行う中で積極的に人間関係を構築し、社会性や自主性を養い自己表現することが出来る
空間トータルデザインを考える

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける
実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	グループ顔合わせ 目標設定 課題発表①	頭の柔軟体操 半期の目標設定
2～6	プランニング プレゼン 制作	テーマに沿った企画を考え意見交換を行いまとめる ※予算の感覚を身に付ける
7	課題発表②	企画・提案 展示方法・学科としてできることについて
8	プレゼンテーション	企画発表
9～12	制作	素材、制作方法について話し合い・試作をしながら進める

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般	出席率	30.0%	
	授業態度	30.0%	
	実習・実技評価	40.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
家具技能演習		2学科／年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	48回	0単位（96時間）	選択	生島　直樹

授　業　の　概　要

年間を通して家具手加工実技製作を学ぶ

授業終了時の到達目標

家具手加工技能検定３級の合格を目指す

実務経験有無	実務経験内容
有	木工所経営者　技能検定建具手加工1級,家具手加工1級取得

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1～4	技能検定について	製作課題の説明、原寸図面の作成
5～10	手道具について 取り扱いの説明	手道具の説明、加工方法の説明、実技見本 各自加工にとりかかる
11～20	各ヵ所の加工説明 道具の使い方説明	4ヵ所の加工の手順説明、それぞれの加工を進めていく 道具の調整、刃物砥ぎ方指導
21～24	実技指導	4ヵ所の加工の手順説明、それぞれの加工を進めていく
25～48	実技指導	4ヵ所の加工の手順説明、それぞれの加工を進めていく

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
教材（木材）は必要に応じて購入とする	出席率 授業態度 実習・実技評価	20.0% 20.0% 60.0%	

作成者:安藤　隆史

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
家具デザイン概論		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	27回	0単位（54時間）	選択	安藤,大島

授　業　の　概　要

家具の機能・材料・構造・仕上げ等の基礎的知識を学習する

授業終了時の到達目標

家具の種類・特徴を理解した上で、制作計画・図面作成をし実制作に生かせるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	CNCフライス盤やレーザー加工機をはじめとするデジタルファブリケーションを主に木製品などの加工を行う

時間外に必要な学修

家庭学習で、家具の各部の名称と人間工学を勉強しておく

回	テ　ー　マ	内　　容
1	家具の条件	機能性・耐朽性
2	家具の条件	安全性・審美性
3	家具の条件	形態・材質・構造
4	家具の条件	箱物家具
5	家具の条件	脚物家具
6	家具の機能と寸法	人間工学と寸法
7	家具の機能と寸法	人間工学と寸法
8	家具の機能と寸法	用途による寸法
9	家具の機能と寸法	用途による寸法
10	家具の機能と寸法	材料による寸法
11	家具の機能と寸法	場所による寸法
12	前期末試験	
13～15	前期課題	
16	木材の種類	国産材・輸入材
17	国産材・輸入材	木材の性質
18	金具の種類と加工	棚受け金具
19	金具の種類と加工	連結金具
20	金具の種類と加工	連結金具
21	家具の図面	三面図
22	家具の図面	詳細図
23	家具の図面	部品図
24	工具	工具の種類
25	工具	工具の使用法
26	工具	工具の安全
27	後期末試験	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	10.0% 10.0% 20.0% 60.0%	

作成者:正木　香奈

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC施工		トータルインテリア学科／2年	2024／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	選択	正木　香奈

授　業　の　概　要

建築の基本的な構造や構法を理解した上で、インテリアコーディネーターとしての基礎的知識を学習する

授業終了時の到達目標

専門的用語を理解し、インテリアコーディネーター資格試験(学科)に合格

実務経験有無	実務経験内容
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、20年間従事経験を活かして実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	床の下地と仕上げについて	床下地の構造・床仕上げの素材について理解する
2	壁の下地について	壁の工法や構造・下地の種類について理解する
3	壁の仕上げについて	左官仕上・種類について理解する
4	天井の下地と仕上げについて	各構造の天井下地の構成・天井の形について理解する
5	屋根の下地と仕上げについて	屋根下地・屋根葺きの用語・防水工事の方法について理解する
6	和室の造作について	造作・内法の意味や柱の面取り・見切縁について理解する
7	床の間について	床の間の形式・様式・部材について理解する
8	洋室の造作について	洋室開口部の造作や洋室の見切縁について理解する
9	階段について	階段の設計の考え方や構成部材と種類について理解する
10	内装構成材について	構成材の流通・規模や床・天井・間仕切り・収納間仕切りユニットの分類と特徴について理解する
11	施工関連用語について	覚えておくと便利な用語について理解する
12	期末試験	期末試験の実施と授業の振り返り

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本	出席率	40.0%	
	授業態度	10.0%	
	課題・レポート	10.0%	
	期末試験	40.0%	

作成者:安藤　隆史

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
家具デザイン演習		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	66回	0単位（132時間）	選択	安藤,大島,鵜篭

授　業　の　概　要

家具デザイン概論で学んだ事を実制作する

授業終了時の到達目標

前期は家具製作の実際が理解出来るようになり　後期はそれをふまえ卒業制作を完成させる

実務経験有無	実務経験内容
有	CNCフライス盤やレーザー加工機をはじめとするデジタルファブリケーションを主に木製品などの加工を行う

時間外に必要な学修

制作の時間が不足するので空き時間を利用して制作を自主的に進める

回	テ　ー　マ	内　　容
1～2	オリエンテーション	授業計画の告知・工房の使用方法を告知
3～4	ダンボールスツール１・２	ダンボールスツールプラン・ダンボールスツールの内容と条件を知った上で　プランニングを開始する
5～6	ダンボールスツール３・４	スツールのデザイン決定、図面制作
7～8	ダンボールスツール５・６	ダンボールスツール展開図・ダンボールスツールのパーツと数量を確認、パソコン上で展開図制作
9～10	ダンボールスツール７・８	ダンボールスツール材料取り・パソコン上で展開図制作したダンボールスツールのパーツをダンボールに製図
11～12	ダンボールスツール９・１０	ダンボールスツール組立て・ダンボールに材料取りしたものを切断　組み立て
13～16	子供椅子１・２	子供椅子のプランを立てる
17～20	子供椅子３・４	子供椅子の図面を書く
21～30	子供椅子５・６	子供椅子の制作をする
31～36	卒業制作	卒業制作のプランを立てる
37～45	卒業制作	卒業制作の図面を書く
46～66	卒業制作	制作

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率	10.0%	
	課題・レポート	30.0%	
	授業態度	30.0%	
	実習・実技評価	30.0%	

作成者:松尾　誠司

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
作品展示計画Ⅱ		トータルインテリア学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

各自オリジナルなプレゼンテーションを行う為の準備
様々なアイディアでデザイン展を盛り上げる

授業終了時の到達目標

限られた時間で、自分自身の考えを相手に伝えるプレゼンテーションが出来るようになる
制作を通して、協調性・積極性等の人間力を身につける

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1～16	修了制作の制作	
17～19	プレゼン練習	
20～23	プレゼン	
24～31	デザイン展制作／設営	デザイン展’２２

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	課題・レポート 授業態度 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う。

作成者:谷澤　紗恵

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
創造制作演習		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	68回	0単位（136時間）	選択	谷澤　紗恵

授　業　の　概　要

社会と関わり、自分で創造して作り上げる力を養う
新しい価値観づくり、素材の扱い方、未来の選択肢の幅を増やす

授業終了時の到達目標

素材、配色、造形などの力を総合的に高める
様々な人が求めるニーズを理解する

実務経験有無	実務経験内容
有	住宅の現場管理・コーディネート　クリエイターとしての自己ブランドの商品の作成・販売 現場での実体験を元に実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

様々な素材や造形を数多く見て、使って研究する
なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける

回	テ　ー　マ	内　　容
1	概論	授業概要説明
2～6	6Fオープンスペースディスプレイ案 模型試作	テーマ・素材・配色・構成の仕方について学ぶ
7～14	6Fオープンスペースディスプレイ作成	ディスプレイを作成していく 目標（仮）：5月20日（月）２限まで
15～17	穴吹祭　プロデュース案	方向性・目的を明確にし、来客者のニーズを積極的に考える
18～20	穴吹祭　販売物・パッケージ案	販売物・パッケージ案を打ち出し、利益が取れるか考える
21～36	穴吹祭　販売物・パッケージ制作	販売物・パッケージを実際に制作していく
37	穴吹祭　最終準備	持っていくもの・当日の流れを再確認
38～41	穴吹祭	
44･45	6Fオープンスペースディスプレイ案 模型試作	テーマ・素材・配色・構成の仕方について学ぶ
46～54	6Fオープンスペースディスプレイ作成	ディスプレイを作成していく 目標（仮）：10月21日（月）２限まで
55～61	ボックスディスプレイ作成	素材を決めてボックスの中に造形を施す
62～68	外部マルシェ出店計画	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
作成資料	出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
インテリア設計		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	89回	0単位（178時間）	選択	鵜篭　正木　谷澤

授　業　の　概　要

コンセプトワークの大切さを改めて理解する
１年次に身に付けた知識を元に与えられた設定に条件を満たす、より実践的な設計をする
自由な発想で２年間の集大成としてふさわしい作品を制作する

授業終了時の到達目標

他の授業で身に付けた知識・技術を全て使い２年間の集大成としてふさわしく、他人と自分自身を納得させる作品を制作できるようなる

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

実在する空間を数多く見て、使って研究する
様々な情報を集める癖をつける
なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける

回	テ　ー　マ	内　　容
1	オリエンテーション	コンセプトワークについて確認する 言葉の連想、グループ討論
2～ 30	設計課題①マンションリフォームor平屋住宅	課題の内容をしっかり理解する IC専攻：マンションリフォーム 建築専攻：新築戸建住宅（平屋） コンセプトワーク、プランニング、プレゼンボード制作、模型制作、プレゼンテーションを通して設計の基礎を身に付ける
25	オリエンテーション	課題の内容をしっかり理解する ※詳細後日発表
26～ 72	設計課題②卒業制作	コンセプトワーク、プランニング、プレゼンボード制作、模型制作、プレゼンテーションそれぞれの設計過程ににおいて2年間の集大成となる作品を制作する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌 資料集成	出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

作成者:寒川　恵太

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
SP演習		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	48回	0単位（96時間）	選択	寒川　恵太

授　業　の　概　要

・インテリア・空間デザインのプロセスを理解し、想像性豊かなものづくりに取り組む
・具体的な場を想定して、店作り・住宅等のコンセプトワーク、プランニングを行う
・スケッチを基本にまとめ上げる－平面プラン・立体パース

授業終了時の到達目標

・手描きプレゼンが出来る　－　パース（着色）
・プランニングの進め方が理解できている
・独自性のあるコンセプトワークの進め方が理解できている

実務経験有無	実務経験内容
有	大型商業施設の商環境デザイン、住宅・店舗の設計の経験を活かした教育を行う。

時間外に必要な学修

課題提出の締切に間に合うよう、授業中の各々の進捗に合わせて作図等を行う

回	テ　ー　マ	内　　容
1～2	デザイン事例紹介	医院／住宅／設計事例ｽﾗｲﾄﾞ（HPより）
3～8	テーマ１　（物販店舗の設計）	ベーカリー　又は　ケーキ
9～16	テーマ2　（飲食店の設計）	南柏駅とペデストリアンデッキにて繋がるビルのテナント
17～22	テーマ３　（住宅の設計）	高松駅近くの繁華街を立地とする住宅
23～24	テーマ4（和の手法）	実例紹介 インテリアパース,着色
25～30	テーマ5（店舗設計）	業種の設定・実例参考 平面プラン(3コマ目安)、展開スケッチ、インテリアパース
31～36	テーマ6（インテリア産業協会コンペ）	過去受賞作品分析、条件の把握、成果品まとめ、家具照明
37～44	テーマ6（インテリア産業協会コンペ）	過去受賞作品分析、条件の把握、成果品まとめ、家具照明
45～48	テーマ７（郊外型店舗設計）	敷地利用計画、コンセプト・敷地配置、プランニング、ファサードデザイン、外観ﾊﾟｰｽ、内観ﾊﾟｰｽ

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
スケッチブック トレーシングペーパー コピック 鉛筆、色鉛筆 PC	出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 20.0% 70.0%	

作成者:三好　里香

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
コーディネート演習		トータルインテリア学科／2年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	選択	三好　里香

授　業　の　概　要

最新のインテリアの実物に触れ、体験することで、クリエイターに必要な旬な情報とデザインセンスを習得し、同時に実践的な商業施設の店舗内装、コーディネートをプロジェクトチームとして企画デザインし、そのプレゼンテーションスキルを学習する。

授業終了時の到達目標

実社会にでて即戦力となる空間デザイン、カラーコーディネイトに必要なプレゼンスキルを習得する。

実務経験有無	実務経験内容
有	住商業空間のインテリアデザイン、コーディネート、ホームステージング、ショーイングディスプレイ等の経験多数あり。

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1～2	オリエンテーション	インテリアセラー 　インテリアコーディネイターの仕事の流儀
3～4	モデルルーム見学	マンションモデルルーム見学 プロのコーディネイターの仕事ぶりを体感する
5～6	インテリアスタイルとコンセプトメイクの定義	クライアント（職種）×ターゲットによるコンセプトスタイルのとらえ方のルールを理解する
7～8	イメージボード＆ゾーニングレイアウト制作	各スペースごとのイメージコンセプトを各自が共有できるよう、グループミーティング
9～10	カラースキム（商業施設＆ホテル客室）	インテリアエレメント（仕様）のプレゼンシート制作
11～12	家具・照明レイアウトプラン	家具・照明のセレクト＆レイアウトプラン
13～14	リアルサンプルイメージボード	
15～16	ショールーム見学	
17～24	ショップイメージ＆プレゼンボード作成（課題）	キッチン、家具、壁紙、カーテン

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%	

作成者:松尾　誠司

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅳ		トータルインテリア学科／2年	2024／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	松尾　誠司

授　業　の　概　要

実践を通してコミュニケーション能力を上げる
就職活動の進め方を確認し、個人ガイダンスを実施する

授業終了時の到達目標

企業が求める社会性とコミュニケーション能力を持つ人材となり早期内定を目指す
明確な目標を設定し、達成に向けてのプロセスを考えることができるようになる

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	目標設定	グループでコミュニケーション クラス目標、個人目標の設定
2	オリエンテーション	コミュニケーションの定義 「話すこと」「聞くこと」
3	就活用書類作成	Excel、Wordの復習 就活用書類の作成
4～7	ディスカッション	テーマに沿ってグループディスカッション ・社会人（新卒）とは ・働くとは
8～9	一般常識問題	グループで一般常識問題にチャレンジ
10～12	コミュニケーションの応用	プレゼンテーション

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	授業態度 課題・レポート	20.0% 80.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
デザイン実習		トータルインテリア学科／2年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	85回	0単位（170時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

空間のプランニングやコンセプトボードデザイン、プレゼンテーションなどをグループで行い、総合的なデザイン制作を学ぶ。また、コンペや産学連携課題などに対応する。

授業終了時の到達目標

プロジェクトにおけるスケジュール設計を的確に行える。
グループでの役割を理解し、適切に行動できる。

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 建築士試験　学科・製図　社会人講座講師

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動機付け	この授業を行う意味について理解する。
2～6	主要デザインソフトの復習	Illustrator、Photoshop、パワーポイントなどの復習を行う。
7～78	テーマに基づいた課題制作	授業課題、コンペ、産学連携などに取り組む。
79～80	前期プレゼンテーション	取り組んできた課題についての総括的なプレゼンテーションを行う。
81～168	テーマに基づいた課題制作	授業課題、コンペ、産学連携などに取り組む。
169～170	後期プレゼンテーション	取り組んできた課題についての総括的なプレゼンテーションを行う。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリア設計士　実技編	出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	